

[成果情報名] 長崎県におけるラビットアイ系ブルーベリーの特性

[要約] ラビットアイ系ブルーベリー「ウッダード」、「ホームベル」及び「ティフブルー」は、西南暖地では生育が優れ豊産性で収量は多く、品質も良い。

[キーワード] ラビットアイ系ブルーベリー、ウッダード、ホームベル、ティフブルー

[担当] 長崎果樹試・生産技術科

[連絡先] 電話0957-55-8740、電子メールs26700@pref.nagasaki.lg.jp

[区分] 果樹

[分類] 指導

[背景・ねらい]

ラビットアイ系ブルーベリーの品種の特性を明らかにし、本県への適応性を検討する。

[成果の内容・特徴]

1. 「ウッダード」は収穫期は6月下旬から8月上旬でやや早い。樹姿は開帳性で、樹勢は樹齢が進むと中程度になるが幼木期の樹冠拡大は遅い。短い枝が多く花芽着生も多いため、収量は多く豊産性である。果実はやや扁円で果粉は多く、肉質は中から軟である。果粒重は中程度であるが、収穫後半は軽い。果実糖度はやや高く、食味はよい（表1、2、図1）。
2. 「ホームベル」は収穫期は6月下旬から8月上旬でやや早い。樹姿は開帳性で、樹勢はやや強く幼木期の樹冠拡大は早い。収量はやや多く豊産性である。果実はやや扁円から円で果粉は少なく、果皮色は濃い。肉質は中からやや硬である。果粒重は中程度であるが収穫後半まで比較的重い。果実糖度はやや高く、食味はよい（表1、2、図1）。
3. 「ティフブルー」は収穫期は7月上旬から8月上旬でやや遅い。樹姿は直立性で、強い枝が多く、樹勢は強い。収量はやや多く豊産性である。果実は扁円から円で果粉は多く、肉質は中から軟である。果粒重はやや重い、収穫後半は軽い。果実糖度はやや高く、食味はよいが、小粒果は種子が多く食味は劣る（表1、2、図1）。
4. 3品種とも収穫期間は長い、成熟は高温乾燥が続くと促進され、集中することがある（表3）。収穫直前の降雨により裂果の発生や糖度低下が見られることもある（データ略）。

[成果の活用面・留意点]

1. 酸性土壌（pH4～5）を好み、水分要求量が高いので土壌管理に注意する。
2. ラビットアイ系ブルーベリーは自家不和合性なので異品種を混植する必要がある。
3. 栽培は極く簡易で粗放的な管理で良い。

[具体的データ]

表1 生育相と果実形質

品 種	開花期 (月旬)	収穫期 (月旬)			樹姿	樹勢	果皮色	果粉	肉質
		始	盛	終					
ウッダード	3下~4上	6 下	7 上	8 上	開帳	中	淡青	多	軟
ホームベル	3下~4上	6 下	7 上	8 上	開帳	やや強	濃青	中	やや硬
ティフブルー	4上	7 上	7 中	8 上	直立	強	淡青	多	軟

表2 収量、樹容積及び果実品質

品 種	収量 (g/樹)	樹容積 ² (m ³)	果粒重 (g)	果形指数 (横/縦*100)	糖 度 (Brix)	酸含量 (g/100ml)
2004年						
ウッダード	2,058	1.35	1.42	128	12.5	0.62
ホームベル	1,389	1.95	1.05	108	13.2	0.62
ティフブルー	1,424	1.72	1.78	122	13.4	0.67
2005年						
ウッダード	2,734	0.90	1.16	113	14.9	1.01
ホームベル	1,906	1.59	1.11	109	14.1	1.19
ティフブルー	2,133	1.38	1.29	103	14.1	1.22

² 2004年までは無せん定、2005年はせん定後の樹容積 (2005年 6年生)

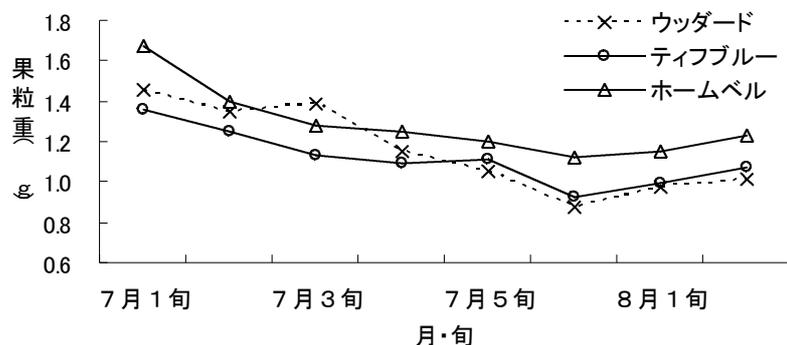


図1 ラビットアイ系ブルーベリーの果粒重の推移(2005年)

表3 時期別収穫割合 (重量割合% 2004年)

品 種	6月下旬	7月上旬	7月中旬	7月下旬	8月上旬
ウッダード	30.7	11.1	32.6	23.4	2.3
ホームベル	58.6	14.7	6.3	19.4	1.0
ティフブルー	13.0	38.1	25.3	21.2	3.5

[その他]

研究課題名：特定果樹の栽培方法

予算区分：県単

研究期間：1999~2005年度

研究担当者：田中 実、林田誠剛、谷本恵美子